

授業科目名	子ども家庭支援論	担当教員名	入江 実
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	保育の本質・目的の理解に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	3年 後期 (3-4期) / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童養護施設主任児童指導員としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の概要 及び 全体目標	家庭の機能が外部化され、その提供がサービスとして商品化され経済活動の一部に組み入れられていく現代社会において、子どもが人間になれる場であり、お年寄りも人間として死ねる場である家庭、そしてそれを支えた地域社会の役割が変化し危機的状況であることを理解させ、家庭・家族の支援についての意義を考察していく。なお、講義は教科書を中心に進めていく。		
到達目標	(1)現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する。 (2)子どもの人権擁護について理解する。 (3)子ども家庭福祉の制度や実施体系等について理解する。 (4)子ども家庭福祉の現状と課題について理解する。 (5)子ども家庭福祉の動向と展望について理解する		
テキスト	「新・プリマース/保育/福祉 社会的養護内容」谷口純世/山縣文治編著 (ミネルヴァ書房)		
参考書・ 参考資料等	指定せず		
成績評価の方法	○平常点(授業態度等) : 50% ○参加意欲 : 25% ○理解度チェック : 25%		
授業外 (事前・事後) 学習の方法、オフィスアワー等			
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	講義の進め方		
第2回	Ⅲ子ども・家庭への支援 第5章 自立支援計画とは ①自立支援計画とは ②自立支援計画を立てるための準備	(1),(2)	
第3回	同章 ③自立支援計画の作成 ④生活の中で生かされる支援計画	(1),(2)	
第4回	考察 第5章から学ぶ支援のポイント	(1),(2)	
第5回	第6章 日常生活の中での支援 ①生活支援とは ②生活支援の実際	(2),(3)	
第6回	同章 ③かかわり困難な事例 ④保護者へのアプローチ	(2),(3)	
第7回	考察 第6章から学ぶ支援のポイント	(2),(3)	
第8回	第7章 みんなで行う治療的支援 ①治療的支援はなぜ必要なのか ②治療か支援か	(2),(3)	
第9回	同章 ③治療的支援の実際、考察	(2),(3)	
第10回	考察 第7章から学ぶ支援のポイント	(2),(3)	
第11回	第8章 自立支援とはなにか ①自立と自立支援	(2),(3)	
第12回	同章 ②社会的養護で暮らす子どもたちの状況	(1),(4)	
第13回	施設におけるリービングケアの取り組み	(1),(4)	
第14回	考察 第8章から学ぶ支援のポイント	(1),(4)	
第15回	全体のまとめ		